



2025年5月9日

各位

会社名 株式会社 鳥羽洋行
代表者名 取締役社長 遠藤 稔
(コード：7472 東証スタンダード)
問合せ先 取締役管理本部長 島津 政 則
(電話番号 03-3944-4031)

中期経営計画「Next Stage 2028」の策定に関するお知らせ

当社グループは、第77期（2026年3月期）から第79期（2028年3月期）までの3ヵ年を対象とした、中期経営計画「Next Stage 2028」を新たに策定いたしましたのでお知らせいたします。

※当社グループでは、経営環境の変化等に対応すべく、引続きローリング方式により中期経営計画を毎年度策定することとしております。

記

1. 中期経営計画「Next Stage 2028」の数値目標（連結）

（単位：百万円）

	第77期 (2026年3月期)	第78期 (2027年3月期)	第79期 (2028年3月期)
売上高	33,000	36,000	39,000
営業利益	1,850	2,150	2,400
経常利益	1,950	2,250	2,550
当期純利益	1,350	1,550	1,700

中期経営計画の詳細につきましては、別添の資料をご参照ください。

以上

※本資料に記載されている内容、数値目標等は発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の将来の内容・業績を保証するものではありません。

Next Stage 2028

～ 新たなステージへ ～

第5次 中期経営計画

2025年5月9日
株式会社鳥羽洋行
証券コード：7472

目指すべき企業像

企業理念

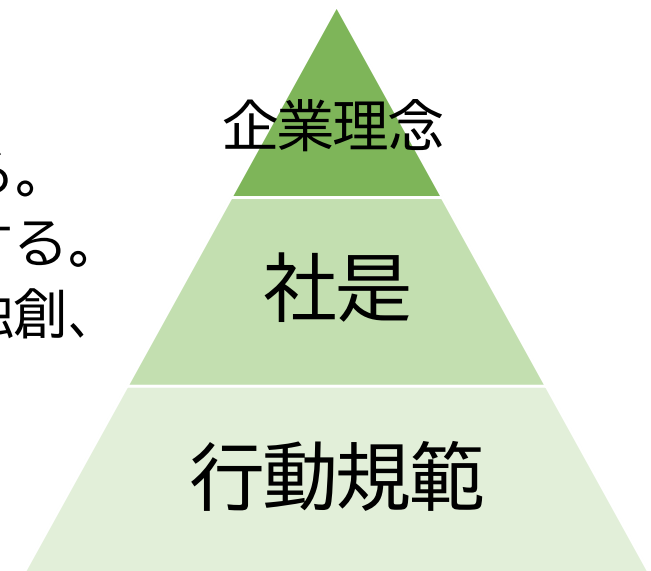
百年の信頼を未来につなげるため、
信用第一主義を貫き、産業の発展と地球環境に
貢献する企業を目指します。



本マークは、当社初代ロゴで、
信用の信の字をデザインしたものです。

社是

- 当社は社会人類に貢献するためにある。
- 当社は社員の向上と幸福を計るためにある。
- 当社は最大ならずとも最良の会社たることを期する。
- 当社は明朗、勤勉、練達の社員のみをもって結成する。
- 当社は何事にも無理なく、堅実に、しかも進取、独創、能率的に経営し、信用を第一におく。



中期経営計画について

当社は、昨年8月に策定した第4次中期経営計画「Next Stage 2027」における初年度売上目標を達成いたしました。中期経営戦略に沿って積極的な事業活動を展開し、300億円の大台を突破することができました。当社は、新たに第5次中期経営計画「Next Stage 2028」を策定し、創業以来育んできた「信用第一主義」の理念のもと、次の100年に向けた持続可能な社会の実現と企業価値の向上を目指してまいります。

Next Stage 2028

第5次中期経営計画 数値目標

Next Stage 2027

第4次中期経営計画 数値目標

(百万円)	進捗状況				
	第76期 (2025/3)			第77期 (2026/3)	第78期 (2027/3)
	計画	実績	達成率	計画	計画
売上高	31,000	31,565	102%	34,000	37,000
営業利益	1,950	1,684	86%	2,020	2,250
経常利益	2,040	1,812	89%	2,120	2,350
当期純利益	1,380	1,231	89%	1,460	1,620

(百万円)	第77期 (2026/3)	第78期 (2027/3)	第79期 (2028/3)
売上高	33,000	36,000	39,000
営業利益	1,850	2,150	2,400
経常利益	1,950	2,250	2,550
当期純利益	1,350	1,550	1,700

～ 新中期経営計画 戦略 ～

①事業拡大戦略	②サステナビリティ	③経営指標
基本戦略 「5つの柱」 取組みの継続	人的資本経営 カーボンニュートラル	ROE 8.0% PBR 1.0倍

①事業拡大戦略

5つの柱 中期経営計画の基本戦略

■ 当社は中期経営計画策定時より5つの柱となる戦略を掲げております。市況の変化に応じて随時内容を検討しております。

1 次世代の柱となるユーザーの新規開拓、育成

- ・積極的な展示会出展と来場者フォローによる新規顧客開拓
- ・自動車・車載部品及び半導体関連顧客への販売強化
- ・M&Aによるシナジーを活かした売上/利益の拡大



大型展示会へ積極出展
TOBAブランド強化

2 新商材発掘（SDGs/環境や人にやさしい商品）

- ・環境負荷や労働負荷を低減できる新たな商材の発掘
- ・カーボンニュートラルに向けたサプライヤーとの連携強化



M&Aによる事業規模の拡大
販路拡大に向け継続的に検討

3 装置ビジネスの更なる販売強化

- ・労働力不足を補う自動化機器とロボットの販売強化



協働ロボットや小型～中型の
産業用ロボット販売に注力

4 技術商社としての存在価値強化(ブランド強化)

- ・各種専門資格等の取得による提案型営業の推進



自動化装置ビジネスで生産性
向上と労働力不足解消に貢献

5 海外拠点との連携強化

- ・新規海外拠点の検討
- ・海外子会社への人材積極投入

PUDU T300



©Pudu Technology Inc. | SoftBank Robotics

AMR：自動搬送ロボット
工場や倉庫での物流搬送で需要拡大

②サステナビリティ 1

サステナビリティ

人と地球にやさしい企業へ

■ 当社はサステナビリティ委員会においてESGの観点から重要課題を抽出し、課題解決に取り組んでおります。人的資本経営と環境への取組みは当社の企業価値向上に資すると判断し、優先的に取り組んでおります。

人的資本経営

■ワークライフバランスと女性活躍の推進

当社は、2025年3月に女性活躍推進法による「えるぼし認定」を取得しました。有給休暇の取得推進、残業時間削減、復職後の時短勤務等による子育て支援や、働きやすい環境づくりに取り組んでおります。

- <目標>
- ・女性社員の平均勤続年数：2027年度 10.5年
 - ・平均残業時間：2030年度 6時間以下
 - ・男性育休取得率：2030年度 50%以上



■健康経営の推進

当社は、健康保険組合より健康推進の取組みを評価され「銀の認証」を取得しております。引き続き従業員の健康診断受診100%を継続する等、健康経営を推進してまいります。

■職場環境整備、エンゲージメント向上

継続的に安心して働ける職場環境の整備を進めております。・営業所の改修・建替・移設の実施
また、社員エンゲージメント向上のための評価制度を検討しております。

■人材強化：各種資格取得による営業提案力の強化

当社は、技術専門商社として必要なスキルを維持するための各種資格取得を推進しております。取得後は社員に一定期間の資格手当を支給しております。・各種資格取得者数：延べ 325名（2025年3月末現在）

■社員昇格制度と教育研修制度の強化

2023年度より、職能等級資格評価制度を導入いたしました。また、教育研修制度の強化による営業スキルの向上に取り組んでおります。



<研修施設での教育研修>

②サステナビリティ 2

カーボンニュートラル

■環境への配慮

当社グループにおける温室効果ガス（CO₂）排出量削減のため、Scope 1～3（サプライチェーン排出量）の算定を実施しております。今後は算定結果に基づき削減目標の数値化と具体化を行い、削減活動に取り組んでまいります。

【当社グループ 過年度(2023年度)のScope排出量（単位：t-CO₂）】

内 容		排出量	比率	中期的な削減の取組み
Scope1	燃料燃焼(ガソリン)	341	0.4%	営業車の50%をHV車へ切替
Scope2	電気使用(電力)	196	0.2%	事業所電力を100%再エネに切替
Scope3	サプライチェーン	81,392	99.4%	①環境負荷低減商品の拡充 カテゴリ 1・11 ②廃棄物削減、輸送の効率化 カテゴリ 4・5・9
合計		81,929	100.0%	

※2024年度についてもScopeの算定を実施しており、随時公開いたします。

■環境負荷低減商品

サプライチェーン排出量の削減に向けて環境に配慮された商品の販売を推進していきます。各メーカーにおいても、商品の製造工程におけるCO₂排出量の削減取組みが進んでおります。



～人や環境に配慮した商品～



③経営指標

経営指標目標の達成

資本コストや株価を意識した経営の実現

■ 経営指標目標 : ROE 8.0%
PBR 1.0倍

■ 目標達成のための取組み

中期経営計画における事業拡大戦略の実行と業務効率化の推進による収益性の向上を目指します。人的資本への積極投資を行い、IR活動や非財務情報の適切な開示及び最適な株主還元（配当・自社株買い等）を実行し、株式市場からの評価を得ることで企業価値の向上を目指します。

利益の追求 ～当社の強みを活かす～

- ・適切な営業拠点配置(全国23か所)による、細やかなサービスの提供
- ・当社が保有する独自商材の拡販と直販体制の強みを生かしたソリューション提案

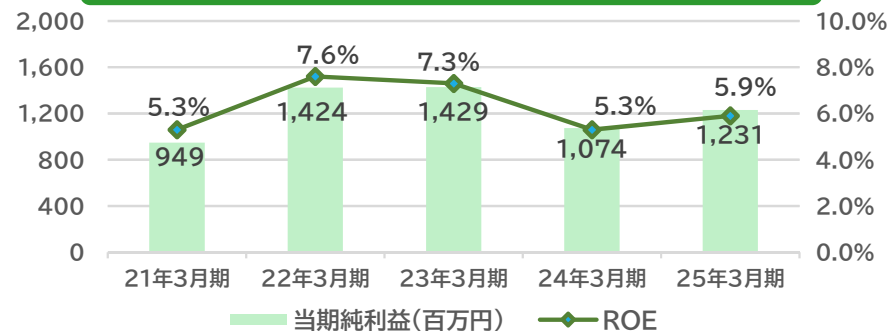
業務効率化 ～DX化推進～

- ・基幹システムの改良による効率化と顧客満足度向上
- ・ワークフロー構築による社内業務の効率化

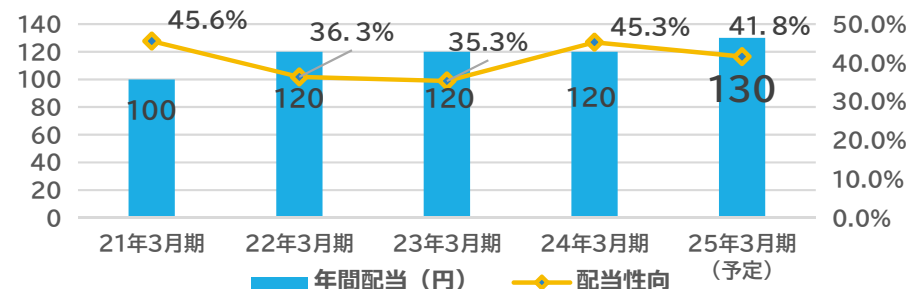
株主との対話について ※2024年度実績

- ・決算説明会 2回、個人投資家向け説明会 2回
- ・IRミーティング 国内/海外機関投資家 計5回

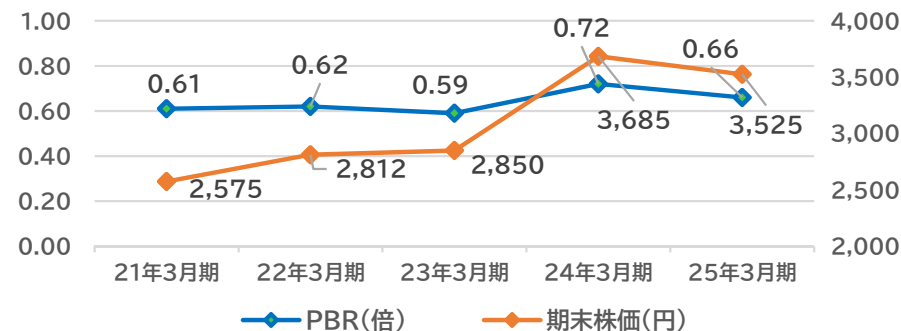
ROEと当期純利益の推移



配当金と配当性向の実績推移



PBRと当社株価の推移



本資料に記載されている内容、数値目標等は発表日現在において当社が入手可能な情報に基づき作成したものであり、当社の将来の内容、業績を保証するものではありません。

株式会社鳥羽洋行

証券コード：7472

<https://www.toba.co.jp>